

生活支援先進地区 蒲原、大洲 に学ぶ —福祉講演会・住民福祉懇談会 開催—

11月13日（金）、生活支援先進地区である静岡市蒲原の「かんばら応援隊」と「大洲地区手助け支援部」の方々に高洲地区交流センターにお越しいただき、支援活動の様子や事業立ち上げ時のご苦労などについて、ご講演をいただきました。週末の夜にも関わらず82名もの参加があり、来春の立ち上げに向け準備中の生活支援サービス事業に対する高洲地区住民の関心の高さがうかがわれました。

生活支援立ち上げの中心になられた蒲原の稲葉様と大洲の内藤様のご講演は、実際の体験談である事から生活支援開始時のご苦労がよく判りました。講演会後は蒲原・高洲グループと大洲・高洲グループに分かれて懇談会を持ち、突っ込んだ質疑で大変貴重なお話を伺うことができました。生活支援開始に向けて身の引き締まる思いの講演会・懇談会でした。



かんばら応援隊 稲葉理事



大洲地区民児協 内藤会長



大洲地区との福祉懇談会

防災研修会 開催される

福祉政策課とVCFの講演を聴講

10月14日（水）、高洲地区交流センターで「災害発生時の要支援者への対応を学ぼう」をテーマに79名が参加して防災研修会が開かれました。

福祉政策課の担当者からは「災害時における避難行動 要支援者（災害時に単独で避難行動をとれない人）の支援について」お話いただき、避難する際の共助の大切さや支援者の対応と公助の支援の整備体制の道すじがよく判りました。またボランティアコーディネーター藤枝（VCF）の方々は、災害時の対応に困る人と日頃から交流をはかり、遠慮なく援助を申し出てもらう環境を作っておくことの大切さを力説され、最後にコロナ禍の避難所の運営・対応の工夫や問題点を示していただきました。



福祉政策課 桑本氏の講演



VCFの方々

三世代ふれあいイベント

—野菜スタンプカード作り—

11月1日（日）、三世代を対象として「野菜スタンプカード作り」を開催しました。

新型コロナ対策として午前と午後の2部構成の開催となったものの、参加者は例年のイベントに比べて少なく26名にとどまりました。それでも、参加した子供達は生き生きとした表情でスタンプ絵を楽しんでいました。特に日頃は絵の具の汚れを気にせず絵を描くことが少なくなっているため、会場内を行ったりきたりして、いろいろな野菜のスタンプを押していました。



また、一緒に参加した親御さんや祖父母の皆さんも童心に帰ってスタンプを工夫して素晴らしい絵を作成することが出来、三世代の交流は十分に果たせたものと思います。

杉山とし子さん
石川道代さん

健康福祉大会会長表彰

9月26日（土）、市役所において令和2年度藤枝市健康福祉大会が開催され、杉山とし子さん（築地）と石川道代さん（高岡）が健康福祉大会会長表彰を受けました。

お二方が15年以上も民生委員・児童委員として社会福祉の発展・向上に多大なる功績をあげてこられた事が認められたものです。

高洲地区は支え合いの地域づくり事業のモデル地区として来春には生活支援サービス事業「高洲手んだい隊」と移動支援サービス事業「高洲足すとし隊」を開始しようとしており、お二方の更なるご活躍が期待されます。



石川道代さん



表彰を受ける杉山とし子さん

ふれあいサロンで備品充実 — あおぞら、兵中ふれあいサロン、ヒルズきずな —

藤枝市社会福祉協議会の「地域福祉活動事業助成金」を活用して、3つのふれあいサロンで必要な備品を整備することができました。これらの備品を用いることで、

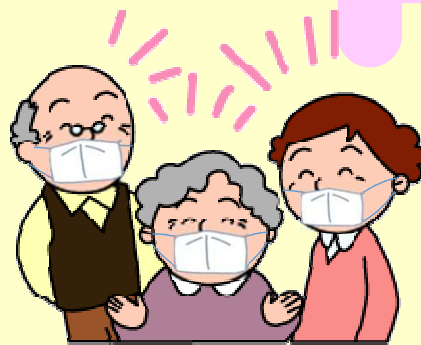
より幅の広い充実した活動を安全に行える様になり、コロナ禍での巣籠り生活による心身機能の活力低下を防止することが期待されます。



きれいなブルーレイ映像を見てストレッチ(兵中ふれあいサロン)



入室前に体温確認
(ヒルズきずな)



活動前の血圧確認で健康管理
(あおぞら)

購入備品

- あおぞら（兵上第5）
 - ：インクジェット複合機
 - ：血圧計
- 兵中ふれあいサロン（兵太夫中）
 - ：ブルーレイディスクプレーヤー
- ヒルズきずな（兵上第1～4）
 - ：電子体温計



複合機できれいで解りやすい資料を迅速に作成(あおぞら)

